

二〇二五年一月二日

冬木の芽緩むかと思ふ今朝の雨	わかば
松飾り梅結びなるめでたさよ	むべ
破魔矢受くマスク美人の巫女なりし	なつき
蒼天へ鬨ぎあふやに冬木の芽	せいじ
百稗の竹青々と淑気満つ	むべ
参拝の列緩みしは宮焚火	なつき
さざなみの遡りゆく冬の川	あひる
初風の沖に散らばる鳥の影	えいじ
実南天たわわに頭垂れにけり	澄子

定例WEB句会みの選

二〇二五年一月二日